

令和2年第8回定例会一般質問通告事項

12月9日	柿本和彦議員（平成会）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 With コロナにおける、自転車事故防止並びに死傷者軽減対策について</p> <p>(1) 尾道市において、近年の交通事故件数とその内の自転車事故件数はどのように推移しているか</p> <p>(2) 18歳未満の児童生徒や65歳以上の高齢者に関して、日常生活や学校への登下校時における自転車運転の際、ヘルメット着用の義務はどのような状況になっているか</p> <p>(3) 18歳未満の児童生徒が自転車を運転する際、ヘルメットの着用を努力義務化してはどうか。また、その際、ヘルメットの購入費用補助を制度化してはどうか</p> <p>(4) 13歳未満の子どもが自転車を運転する際のヘルメット着用に関して、保護者にどのような方策で周知徹底しているか</p> <p>(5) 18歳未満の児童生徒や65歳以上の高齢者に関して、自転車を運転する際の交通ルールについて、どのような指導を行っているか</p> <p>(6) 高齢者が自転車を運転する際のヘルメット着用について、どのように考えるか。いわゆる“おしゃれヘルメット”により高齢者の自転車事故による死亡を防止してはどうか</p> <p>2 With コロナにおける、情報モラル教育について</p> <p>(1) Before コロナと現在において、子どもたちが情報端末に触れる状況は大きく変化したか、情報モラル教育に関する指導は何か変化したか</p> <p>(2) 児童生徒のスマホ利用に関するルールについて、各家庭でどの程度ルール化されていると捉えているか</p> <p>(3) 児童生徒を持つ家庭に対し、これまで以上にスマホ利用ルールの作成を呼び掛けることが必要だと考えるがどうか</p> <p>(4) スマホによる睡眠障害について、児童生徒だけでなく市民全員の健康被害を防ぐために、『睡眠2時間前はスマホを見ない』『21時以降は画面の明るさを暗め（ブルーライトをカット）に設定する』等、広く発信し情報を共有してはどうか</p> <p>(5) 英語圏を中心に浸透している「the 20/20/20 rule」を推奨してはどうか</p>	

12 月 9 日	<p>3 With コロナにおける、地域と共にある学校づくりの推進について</p> <p>(1) 尾道市内でのコミュニティスクールの指定に関して、これまでどのような効果を上げているか</p> <p>(2) 地域との関わりを推進していく際、コミュニティスクールがより有効に機能すると考えるがどうか</p> <p>(3) 近隣市でも相次いで設立されている義務教育学校に関して、メリット・デメリットをどのように整理しているか</p> <p>(4) 義務教育学校のデメリットと言われている人間関係について、小学校から中学校へ持ち上がりになっている学校についてはどのような対策を取っているのか</p> <p>(5) 全ての小中学校について、学校運営協議会を設置する学校、いわゆるコミュニティスクールへ、そして、物理的、社会的に移行が容易な小中学校については義務教育学校として設置してはどうか</p> <p>(6) 義務教育学校にすれば、教科担任制が導入し易くなり、教員の持ちコマ数の軽減や授業準備の効率化により、学校の教育活動の充実、また、教員の働き方改革にもつながると考えるがどうか。また、授業の質の向上が望め、児童生徒の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化を図ることも可能になると考えるがどうか</p> <p>(7) 地域学校運営協議会を設置している向東小学校と向東中学校を義務教育学校として設置してはどうか</p>
-------------------	---